


## 第6章

### 小学校区域ごとの取り組み



- 1 アクションプランとは
- 2 アクションプランがめざすもの
- 3 各小学校区の目標
- 4 各小学校区の取り組み



## 第6章 小学校区域ごとの取り組み

本計画がめざす「かかわりあって たすけあい のびのび しあわせのまちづくり」の実現には、市全体の取り組みとあわせて、それぞれの地域での主体的な活動が不可欠です。

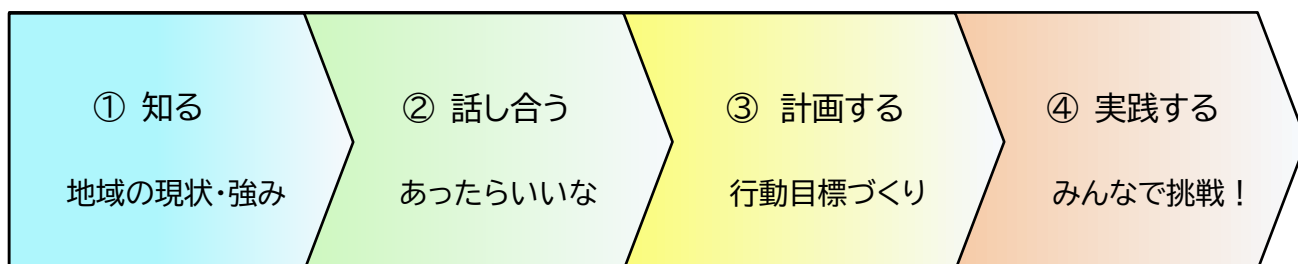
本計画に基づき、交野市内の9小学校区を単位として組織された校区福祉委員会を主体に、それぞれの地域の実情に応じた具体的な行動計画として「アクションプラン」を策定しました。このアクションプランは、市民が主役となって、関係団体等と連携をしながら、支え合いの地域づくりを進めていくための道しるべです。

### 1 アクションプランとは

アクションプランとは、各小学校区の市民や関係団体が、自分たちの地域の「現状」や「強み」を踏まえて、「あったらいいな・できたらいいな」「これからできそうなこと」を出し合い、話し合いを重ねて作り上げた、地域に根差した行動計画です。

地域に関わるすべての人が地域福祉を「自分ごと」と捉え、自分たちの手でより良い地域を創造していくための、具体的な目標を示しています。

#### 【アクションプランのフロー】



### 2 アクションプランがめざすもの

アクションプランは、地域住民同士の顔の見える関係づくりを基本に、日常的なあいさつや声かけといった小さなつながりを育むことから、地域の困りごとを協働で解決する仕組みづくりまで、多様な取り組みを推進します。

また、こどもから高齢者、さまざまな背景を持つすべての人が、「お互いさま」の気持ちで支え合い、いきいきと安心して暮らし続けられる地域を育むことをめざします。

そして、地域の伝統や資源を大切にしながら、社会の変化に対応した新しい活動にも挑戦し、次世代へとつながる持続可能な地域共生社会の基盤を築いていきます。

### 3 各小学校区の目標

交野市内の9つの校区福祉委員会で策定されたアクションプランをご紹介します。それぞれのプランには、各地域の特色や市民の温かい想いが込められています。

各小学校区がめざす地域の姿(目標)は次ページのとおりです。

名称	目標
	特色ある取り組み
交野みらい校区福祉委員会	地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせる明るいまちづくりをめざします 米づくりや花いっぱい運動などの土に触れる体験を通して、多世代交流を行い、郷土愛を育もう
倉治小学校区福祉委員会	笑顔いっぱい、絆を深め これからもずっと倉治で暮らしたいまちづくり 認知症になっても住み慣れた場所で生活できるようなコミュニティをつくろう
郡津小学校区福祉委員会	みんなで支え合う、安心安全な住みよいまちづくり 登下校時の見守り活動を継続して共にご近所の挨拶から始まる支え合いを推進する
旭小学校区福祉委員会	赤ちゃんから高齢者まで 安心して暮らせるまちづくりをめざし みんなの手で幸せを紡ぎます 地域のつながりや交流を深めるため、自治会等と連携し、地域に潜在する未利用施設の効果的な活用を検討しよう
星田小学校区福祉委員会	星田を知り、すべての世代が星田で暮らしてよかったと思える地域にしていこう コミュニティスクールと地域が連動することにより、地域住民も学校行事に参加して世代間交流を増やそう
妙見坂小学校区福祉委員会	みんなの福祉にみんなで向き合い「ふだんのくらしのしあわせ」を実感できる地域にしよう！ 「あいさつ運動」でつながりを深め、地域福祉、地域安全活動を実践しよう！ あいさつと声かけ運動で、あたりまえのことをみんなで実践する
岩船小学校区福祉委員会	誰もがつながりを実感できる豊かな地域にしよう 地域の良さを実感できるようなイベント(栗拾いやさつま芋ほり、稲作など地域の特性を活かす)を継続し、郷土愛を育もう
私市小学校区福祉委員会	ともに生きる時代を大切にして 見守り合う楽しい地域にしよう 高齢者のちょっとした困りごとに対応する「お手伝いクラブ」の活動を継続し、活用してもらおう
藤が尾小学校区福祉委員会	地域のつながりを深め、障がい者や高齢者、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指します お隣さん『元気デッカ！』から始まる声かけを全域にひろめよう

## 4 各小学校区の取り組み

各小学校区の具体的な取り組み内容(アクションプラン)は、次ページ以降で詳しく紹介します。



# 交野みらい校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

### 地域の特徴

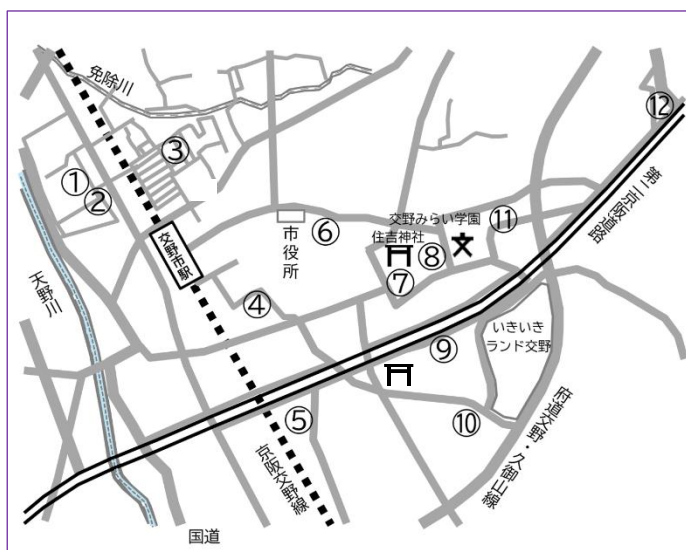
私たちの地域は、市のほぼ中央部に位置し、市役所や郵便局、商店街等主要な拠点があります。青山、梅が枝、駅前住宅、私部、向井田で構成されており、校区内には鉄道・高速道路が走っています。通勤・通学などの交通アクセスや買い物にも便利な地域です。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	15,601人	16,514人	-5.5%
世帯数	7,353世帯	7,498世帯	-1.9%
年少人口 (0～14歳)	1,947人	1,933人	+0.7%
生産年齢人口 (15～64歳)	9,074人	9,842人	-7.8%
高齢者人口 (65歳～)	4,580人	4,739人	-3.4%
高齢化率	29.4%	28.7%	+0.7%

※令和7年4月付で、郡津区の一部が交野みらい学園校区から郡津小学校区に変更となっています

### 地域の拠点マップ



《拠点》	
①梅が枝住宅第一集会所	⑨向井田集会所
②梅が枝住宅第二集会所	⑩私部公園
③交野市駅前住宅自治会集会所	⑪青山自治会集会所
④青年の家 交野市地域子育て支援センター	⑫介護老人保健施設 青山
⑤介護老人福祉施設 サール・ナートかたの	
⑥わかばこども園	
⑦私部会館	
⑧私部保育園	

## 地域の組織

♣自治 ♡福祉・教育  
◇地域振興 ♡防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	♡交野みらい学園 ◇青少年指導員 ♡保護司 ♡更生保護女性会会員 ♡民生委員・児童委員 ♡主任児童委員 ♡PTA ♡自主防災会 ♡防犯委員会
青山区	♣青山自治会 ♡青山長寿会 ◇まちづくり委員会
梅が枝区	♣梅が枝住宅自治会 ♡梅が枝シニアクラブ
駅前住宅区	♣駅前住宅自治会 ♡はつらつ会
私部区	♡長寿会 ♡私部保育園 ♡わかばこども園
向井田区	♣向井田自治会 ♡白寿会

## 校区福祉委員会の活動内容

※日時・場所については、変更する場合あり

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	いきいきふれあいサロン	地域の高齢者	梅が枝住宅第一集会所	毎月第1火曜日 14:00～
			交野市駅前住宅自治会集会所	毎月第1火曜日 14:00～
私部会館			毎月第3金曜日 10:00～	
	子育てサロン	未就園児と保護者	私部会館	毎月1回 10:00～
個別援助	あいさつ・声かけ運動 (ふれあい・見守り)	地域住民	地域内	随時
	友愛訪問	一人暮らし高齢者	対象者宅	年1回(12月)
世代間交流	花いっぱい運動	交野みらい学園1年生	交野みらい学園	年1回
	おはなし会	交野みらい学園の児童	交野みらい学園	年10回
	米づくり (田植え・稲刈り)	交野みらい学園5年生	校区内の田んぼ	6月・10月
	わかばこども園との交流	地域の高齢者	わかばこども園	年1回
	私部保育園との交流	地域の高齢者	私部会館	年1回



▲子育てサロン (芋ほり)



▲世代間交流 米づくり (田植え)



▲いきいきふれあいサロン (落語会)

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- ボランティア活動への支援については、情報提供・活動先の紹介等が求められている
- 災害時や治安など地域の安全・安心に関して重要だと考えている人が多い
- 忙しくて時間が取れないこと、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となっている
- 福祉に関心があるが、これまで福祉活動等をしたことがない、自分が何をすればいいのかわからないという人が多い

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- アンケートで87%以上の方が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も8割以上いる
- 参加や手助けができると思う活動では、地域清掃活動・防災対策・日常生活支援などの割合が高い
- 福祉に関心がある人については、特に高齢者・認知症・こどもに関する福祉に関心が高い
- こどもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い
- 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い
- 福祉に関心がない人でも、地域清掃活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- あいさつ運動を全世代で（こども、保護者、高齢者）
- 地域の特性を活かして土に触れる体験がこどものころからできるといいな
- 活動の情報を発信していく
- 男性の参加がもっと多い方がいいな（囲碁、将棋、マージャンなど）
- 気軽に相談できる場所があったらいいな
- 地域の人々が気軽に集まることができる機会があるといいな
- 個人で備蓄することの大切さを知ってもらえるといいな。トイレトラック、ポータブルトイレ、使い捨てトイレなどについて知る機会をもつ。サロン等で勉強会ができるといいな

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- こどもと高齢者のサロンを合同で出来たらおもしろい（芋ほりなど）
- 大人のあいさつ運動：ふだんからの皆があいさつする地域にしたい
- 出前講座で防災について学ぶ機会をもつ
- 若い人の協力。学生たちが参加できる活動
- 趣味などでつながりをつくる
- 地域の社会福祉施設などとの交流
- 世代を超えた交流会

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 交野みらい校区福祉委員会の目標

地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせる  
明るいまちづくりをめざします

### 交野みらい校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 地域住民がもつそれぞれの強みを活かし、地域の活性化につなげよう
- 高齢者の交流できる場をつくり、見守り合える関係づくりにつなげよう
- 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるような仕組みを考えよう
- 世代間交流などを通して、ともに生きる力を育み、『こども発』で大人も一緒に学び、多様な人との交流や地域の良さを知る機会をつくろう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 地域であいさつ・声かけ（ふれあい・見守り）運動を継続し、つながりの輪を広げよう
- 米づくりや花いっぱい運動などの土に触れる体験を通して、多世代交流を行い、郷土愛を育もう
- 地域の医療機関、福祉事業所などの協力を得て、勉強会を開き、サロンの活性化や近隣で気軽に相談できる場所につなげよう
- 長期休暇中のこどもの居場所をつくり、多世代交流や相談、見守りにつなげよう

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 校区福祉委員に向けた、福祉に関する学びの機会をつくり、見守りの目（芽）を育もう
- SNSなどを活用して、校区福祉委員会の活動を多世代に知ってもらおう
- 中・高・大学生が校区福祉委員会活動で活躍できる仕組みをつくろう

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- サロンの参加者名簿を作成し、見守り・安否確認につなげよう
- 各区や消防団、地域の福祉事業所などの協力を得て、防災・避難訓練などを行い、つながりを深めよう
- こどもから大人まで、全世代を対象とした、防災・防犯意識を高める取り組みをしよう
- あいさつ・声かけ運動により地域のつながりを強化し、誰もが安心して暮らせる地域にしよう

# 倉治小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

### 地域の特徴

私たちの地域は、市の北部に位置し、倉治、東倉治、神宮寺、浜の池で構成されています。かつての農村地帯に住宅開発がすすみ、歴史ある古い町並みと新興住宅が混在しています。町委員・校区福祉委員・民生委員・児童委員・シニアクラブさんゆう会・自主防災会など、それぞれの団体が協力し合いながら福祉活動を展開しています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	10,640人	10,478人	+1.6%
世帯数	4,549世帯	4,298世帯	+5.8%
年少人口 (0～14歳)	1,574人	1,663人	-5.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	6,405人	6,205人	+3.2%
高齢者人口 (65歳～)	2,661人	2,610人	+2.0%
高齢化率	25.0%	24.9%	+0.1%

### 地域の拠点マップ

《拠点》

①特別養護老人 ホーム美来	⑨ひかりの子幼稚園
②東幾野ふれあい館	⑩山手町集会所
③カンガルー公園 (3丁目)	⑪くらじワーク センター
④倉治公民館	⑫倉治公園・倉治 グラウンド
⑤いこいの郷	⑬特別養護老人 ホームかたの美来
⑥はたもの広場	⑭第二きんもくせい 保育園
⑦東田中央公園	
⑧倉治こども園	

## 地域の組織

♣ 自治  
♥ 福祉・教育
 ◇ 地域振興  
♠ 防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	<span style="color: red;">♥</span> 倉治小学校区福祉委員会 <span style="color: red;">♥</span> 倉治小学校 <span style="color: red;">♥</span> 第二中学校 <span style="color: red;">♥</span> 青少年指導員 <span style="color: red;">♥</span> 保護司 <span style="color: red;">♥</span> 更生保護女性会 <span style="color: red;">♥</span> 民生委員・児童委員 <span style="color: red;">♥</span> P T A <span style="color: red;">♥</span> シニアクラブさんゆう会
倉治区	<span style="color: green;">♣</span> 倉治18町自治会 <span style="color: red;">♥</span> こども会 <span style="color: blue;">◇</span> 地域ボランティアグループ <span style="color: blue;">♠</span> 倉治消防分団

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	いきいきサロン	世代問わず	倉治いこいの郷	毎月第1月曜日 10:00～
			山手町集会所	毎月第2木曜日 10:00～
			東幾野ふれあい館	毎月第3木曜日 10:00～
	子育てサロン	未就園児と保護者	倉治公民館	毎月第4水曜日 10:00～
	ジョイフル・ビー	世代問わず	東幾野ふれあい館	毎週月曜日 10:00～
	歌声喫茶	世代問わず	倉治いこいの郷	毎月第3水曜日 13:00～
	くらじっ子夏の家	倉治小学校児童	倉治公民館	夏休み期間に数回
	元気アップ体操	高齢者	大仏町集会所	毎月第2, 4金曜日 10:00～
			東田町集会所	毎週水曜日(第5を除く) 10:00～
			山手集会所	毎週水曜日10:00～
東幾野ふれあい館			毎月第1, 3, 5金曜日 第2, 4木曜日10:00～	
栄町集会所			毎月第1, 3水曜日10:00～	
世代間交流	あいさつ・声掛け運動	世代問わず	倉治小学校区	通年
	倉小1年生との交流会	倉治小学校児童	倉治小学校	年1回
	かたの郷土史かるた会	倉治小学校児童	倉治公民館	年1回
	倉治こども園との交流会	園児	倉治こども園	年1回
	倉小ふれあい広場	倉治小学校児童	倉治小学校	年1回
	倉治小学校青パト見守り	世代問わず	倉治小学校区	通年



▲子育てサロン



▲くらじっ子夏の家



▲いきいきサロン

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- 自治会に加入していると回答した人の割合が9校区で最も低く、近所づきあいをわずらわしいと感じている人が多い
- 安心して暮らせる地域には、防災・安全・困ったときの相談場所が重要だと考えている人が多い
- 地域の人材活用や世代間交流等、多分野・多世代のつながりに関することへの満足度が低い

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- アンケートでは約9割の人が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も9割近くいる
- 地域活動に参加経験がある人の割合は高くないが、機会があれば参加したいという人は多い
- こどもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足度が高い
- 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い
- こどもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い
- 福祉に関心がない人でも、居住地域での地域美化活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 災害時のためにも地域の交流をしっかりとできればいいな
- 地域の福祉施設と顔がみえるつながりの強化
- 家の中の困りごと（ちょっとしたこと）を手伝ってもらえたらいいな
- 地域の人と地域で働いている人の関わる仕組みがあるといいな
- ぶどう狩り、みかん狩りで交流できたらいいな
- こどもたちも一緒に参加できるイベントができたらいいな
- 倉治を知ってもらう機会をつくりたい

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 世代間交流として夏休みなどにラジオ体操
- 認知症カフェ
- 家の中の困りごと（ちょっとしたこと）を手伝える組織づくり
- いきいきサロンを午後からにして、こどもたちの居場所としての役割にして、世代間交流の機会を増やす
- 小学校や中学校に校区福祉委員会を知ってもらう時間を作ってもらう
- 家に引きこもっている人を連れ出す機会（外出促進）を作る
- 両隣を知って助けあっていける関係づくり

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 倉治小学校区福祉委員会の目標

笑顔いっぱい、絆を深め  
これからもずっと倉治で暮らしたいまちづくり

### 倉治小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 認知症になっても住み慣れた場所で生活できるようなコミュニティをつくろう
- 地域のこども食堂と協働して新たな居場所づくりに取り組もう
- これからも外出したくなるような元気アップ体操やいきいきサロンを続けていこう
- 赤ちゃんから高齢者までが安心して暮らすことができるよう、地域内の資源の活用、情報を分かりやすくお知らせしよう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 地域の産業と住民のつながりをつくり、そのつながりをサロンでも活用しよう
- あいさつ運動の取り組みを小学生だけでなく、月に1回中学生に対しても行おう
- 地域のまつりやイベントで校区福祉委員会としてブースを出したり参加しよう

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 校区福祉委員会のSNSを活用してスマホ世代に向けて活動のPRをしよう
- 子ども会やPTAに呼びかけ、サロンや世代間交流に新しいアイデアを取り込もう
- 活動の内容を見える化し、校区だよりでボランティア募集を行おう
- こどもボランティアが主体的に活動できる場をつくろう

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- サロン参加者や何らかの理由で来られなくなった人の見守り・安否確認をしよう
- 日中の災害を想定し、警察・消防分団・福祉施設等とのつながりを深めよう
- 避難時の行動と避難所での役割を理解し、適切に対応できる力を身につけよう
- さまざまな困りごとへの理解を深め、やさしく声をかけあえるコミュニティをつくろう

# 郡津小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

### 地域の特徴

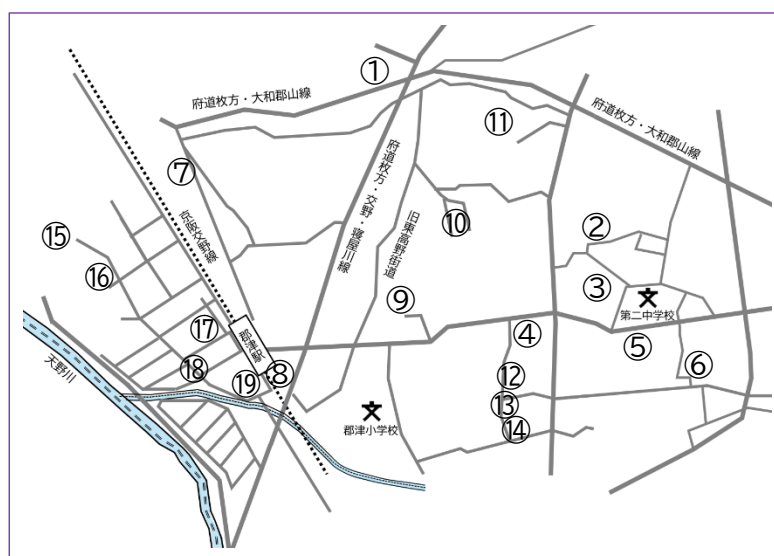
私たちの地域は、市の北西部から最北部にかけて位置し、東高野街道など歴史の面影と、昭和以降に開発された比較的新しい住宅地が併存する地域です。戸建てやマンション、府営団地など多様な住まいがあり、若い世代の流入で活気づいていますが、従来の地区では、高齢化も進んでいます。美化活動やラジオ体操といった住民の交流も盛んに行われています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	11,818人	11,534人	+2.5%
世帯数	5,476世帯	5,039世帯	+8.7%
年少人口 (0～14歳)	1,251人	1,297人	-3.6%
生産年齢人口 (15～64歳)	7,136人	6,979人	+2.3%
高齢者人口 (65歳～)	3,431人	3,258人	+5.3%
高齢化率	29.0%	28.2%	+0.8%

※令和7年4月付で、郡津区の一部が交野みらい学園校区から郡津小学校区に変更となっています

### 地域の拠点マップ



#### 《拠点》

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ①幾野西集会所            | ⑩郡津2丁目<br>ちびっこ広場 |
| ②幾野会館              | ⑪交野女子学院          |
| ③くらやま幼稚園           | ⑫児童公園            |
| ④第一児童センター          | ⑬郡津神社            |
| ⑤郡津公園              | ⑭老人センター          |
| ⑥幾野南集会所            | ⑮交野病院            |
| ⑦第二きんもくせい<br>保育園分園 | ⑯松塚ふれあい館         |
| ⑧交野幼稚園             | ⑰交野会館            |
| ⑨郡津公民館             | ⑱交野保育園           |
|                    | ⑲松塚公園            |

## 地域の組織

自治 地域振興  
福祉・教育 防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	◇郡津財産区 ♡郡津小学校PTA ♡交野第二中学校PTA ♡青少年指導員 ♡保護司 ♡更生保護女性会会員 ♡民生委員・児童委員
郡津区	♣自治会（18町）役員会 ◇郡津同友会 ◇公民館管理（趣味サークル等） ♡和光会（老人会） ♡郡津子ども会 ♣郡津消防分団 ♣避難行動支援者組織 ♣自主防災組織
幾野区	♣連合自治会 ♣5自治会 ◇2中親地の会 ♡老人会（幾久栄会） ♡幾野連合子ども会 ♣子ども見守り隊 ♣避難行動支援者連絡会 ♣自主防災組織（I-BOU）
松塚区	♣自治会（9自治会） ♣松塚地区連絡協議会 ◇松塚ふれあい館運営委員会 ◇交野会館運営委員会 ♡花と緑の会 ♡福祉ネット松塚 ♡シニア松塚 ♣自主防災会

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	元気アップ体操	高齢者	郡津公民館	毎週火曜日 10:00～
	元気アップ体操	高齢者	松塚ふれあい館集会所	毎週月曜日 13:30～
	ふれあいサロン	高齢者	郡津公民館	毎月第1木曜日 10:30～
	お楽しみサロン	高齢者	幾野南集会所	毎月第4月曜日 13:30～
	ふれあい喫茶	高齢者	松塚ふれあい館別館	毎月第3水曜日 14:00～
	喫茶「松の実」	世代問わず	松塚ふれあい館別館	毎週月曜日 9:30～
	ふれあいカフェ &図書室	世代問わず	幾野南集会所	毎月第1・2・4土曜日 9:30～
	グランドゴルフ教室	世代問わず	松塚ふれあい館広場	毎週土曜日 9:00～
	あいさつ運動	世代問わず	京阪郡津駅	4回
	登下校見守り	児童	郡津小学校区内各箇所	学校登校日毎日
	美化運動	世代問わず	幾野地区	6・9・11・2月
	夏休みこども塾	小学生（1～6年生）	郡津公民館	夏休み
	夏休み社会見学会	小学生（3～6年生）	幾野5丁目工業団地他	夏休み
	個別援助	委員アンテナ活動	健康不安把握者	郡津地区
お助け幾野		高齢者	依頼者宅（幾野）	随時
友愛訪問		一人暮らし高齢者	対象者宅（幾野）	年2回
敬老の日記念事業		90歳以上の方の お祝いと見守り	対象者宅（松塚）	敬老の日
世代間交流	郡津小学校昔遊び	小学1年生と高齢者	郡津小学校	年1回(2月)
	ふれあい広場	児童と高齢者	郡津小学校	年1回(10月)
	子どもラジオ体操	児童と高齢者	二中前公園	夏休み期間中
	七夕まつり見学	園児と高齢者	くらやま子ども園	年1回(7月)
	ハロウィーン祭り	世代問わず	二中前公園	年1回(11月)
	クリスマス会	世代問わず	松塚ふれあい館集会所・ 広場	年1回(12月)
	大人のティータイム	世代問わず	松塚ふれあい館集会所	年1回(3月)
	「郡津歴史さんぽ」で スタンプを集めよう	世代問わず	郡津小学校区内	年1回(4月)



▲元気アップ体操



▲ふれあいカフェ&図書室



▲夏休み子ども塾

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- 近所づきあいをわずらわしいと感じている人が多く、立ち話やあいさつをする程度という人の割合が高く、福祉活動等をしたことがないという回答が多い
- 情報提供・活動先の紹介があればボランティア活動が行いやすいという回答が多い
- 安心して暮らせる地域には、災害時や治安など地域の安全安心が重要だと考えている人が多い

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- アンケートでは85%以上の方が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も7割以上いる
- 参加や手助けができると思う活動では、見守り活動・災害や防災対策の割合が高い
- 福祉に関心がある人については、特に高齢者・子どもに関する福祉に関心が高い
- 子どもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 登下校時の見守りを継続、人員不足の解消できないか
- 悩み事を相談できる場が近所にあったら良いな
- イベントとして、フリーマーケット、バザー、交換会ができたらいいな
- 地域の防災面でも向こう三軒両隣のあいさつ、コミュニケーションを復活してほしい
- 地域の歴史を知るイベント、地域の企業などを知るイベントの開催できないか
- 地域清掃を楽しみながら出来ると良い
- 具体的な呼びかけ（イベント）でボランティアの活動人員を増やす
- 地域にはいろいろな人が住んでいる。「地域人材バンク」をつくろう

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 防災訓練などへの中学生の参加を推進する
- 地域の交流につながるイベント、フリーマーケットなどを開催、または参加する。幾野地区の「ハロウィーン祭り」を校区全体に拡大する
- 「男の料理教室」男性が主役の料理教室を開催する。または応援する
- インスタグラムなどSNSを活用した広報方法をし、住民の力を借りて、人材バンク登録を広げていく
- 悩みを聞いてもらっただけで元気になる人もいる。共感できる人とのマッチングをする
- 郡津歴史さんぽ、工場社会見学会を通して交野を知ることにより郷土愛を育てる
- 住民の力を借りる。人材バンク登録を広げていく
- 企業のCSR（社会貢献）を依頼し参加していただく

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 郡津小学校区福祉委員会の目標

みんなで支え合う、安心安全な住みよいまちづくり

### 郡津小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 「郡津歴史さんぽ」でのスタンプラリー企画を継続して開催し、郷土愛を育てる
- 地域の企業などと協力し、夏休みの社会（工場）見学会を継続して行う
- あいさつ運動や登下校時見守りを通じてのあいさつ（声かけ）活動を続ける
- 地域の清掃活動を継続して実施し、郷土愛あるキレイな町を維持し続ける

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 地域の交流につながるイベント、フリーマーケットなどを開催、または参加する幾野地区で「ハロウィーン祭り」をする
- ふれあい喫茶&図書室の開催時に、こどもブースを設置する
- 隣近所のちょっとした困りごとを「各種活動でアンテナを張り情報収集・共有化」し、地域で解決が難しい困りごとは専門職（社会福祉協議会等）につなぐ体制を整える同時に子育て世代には、ポラリスなどを紹介する
- 「男の料理教室」男性が主役の料理教室を開催する

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 地域にはいろいろな人材が住んでいるので、「地域人材バンク」をつくる
- 地域の企業や施設と連携したイベントを開催する
- 各イベント時に手伝う人を募集して負担がかからないように協力者を募る
- 校区福祉委員会が主体でなくても既存の団体（趣味のグループ）の広報活動を行うことで福祉の担い手確保に繋げる

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- 自主防災組織に協力して防災訓練などへの小中学生の参加を推進する
- 小中学校に魅力あるチラシを配布し、参加を促す活動をしていく
- 登下校時の見守り活動を継続して行う
- ご近所のあいさつから始まる支え合いを推進する

# 旭小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

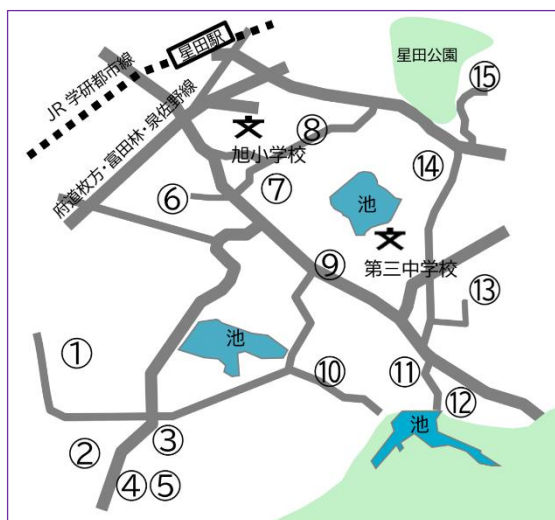
### 地域の特徴

私たちの地域は市の南西の端に位置し、中央を流れる傍示川には地域の手によって整備された桜並木があり、今も内外の人々の心を魅了します。地域は星田、星田山手、星田西の3つの区で構成され、星田は旧家、戸建て、マンションが混在、星田山手は戸建て住宅が建ち並ぶ閑静な住宅地、星田西は住宅と生活サービス機能が融合した地域で、地区によって特徴はありますが、思いやる気持ちを持って進めてきたまちづくりが大きな地域力となっています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	6,670人	7,031人	-5.1%
世帯数	2,948世帯	2,913世帯	+1.2%
年少人口 (0～14歳)	726人	813人	-10.7%
生産年齢人口 (15～64歳)	3,818人	4,135人	-7.7%
高齢者人口 (65歳～)	2,126人	2,083人	+2.1%
高齢化率	31.9%	29.6%	+2.3%

### 地域の拠点マップ



#### 《拠点》

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| ①星田ゴルフセンター   | ⑩星田山手自治会館              |
| ②星田西4丁目集会所   | ⑪星田山手東集会所              |
| ③ふれあいプラザ     | ⑫きんもくせい特別養護老人ホーム       |
| ④星田西体育施設     | ⑬きんもくせいケアプランセンター       |
| ⑤星田西3丁目集会所   | ⑭特別養護老人ホーム明星 軽費老人ホーム明星 |
| ⑥府営住宅集会所     | ⑮星田会館                  |
| ⑦高岡幼稚園       |                        |
| ⑧ほしのまち保育園    |                        |
| ⑨ぽっかぽか7丁目保育園 |                        |

## 地域の組織

♣自治  
♥福祉・教育
 ♠地域振興  
♠防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	♥旭小学校区福祉委員 ♥旭小学校 ♥第三中学校 ♥青少年指導員 ♥更生保護女性会会員 ♥民生委員・児童委員 ♥主任児童委員 ♥PTA ♡学童見守りボランティア ♡自主防災会 ♡自主防災会消防団星田分団
星田山手区	♣星田山手自治会 ♣星田山手東自治会 ♡星田山手ボランティア街づくり推進会 ♥ごきげんさん連絡協議会 ♥星田山手熟年会 ♥星田山手東さくらの会 ♥星田山手子ども会 ♥星田山手東子ども会
星田西区	♣コモンシティ星田自治会 ♥星田西遊友クラブ ♥コモンシティ星田連合子ども会 ♡CGS（星田西ボランティア）
星田区	♣町会 ♥星田寿会 ♡だんじり保存会

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ活動	ふれあいいいきいきサロン	高齢者	星田山手自治会館（偶数月） 星田西3丁目集会所（奇数月）	毎月第1土曜日 10:00～
	子育てサロン	未就園児と保護者	星田山手東集会所（第2水曜日） 星田西3丁目集会所（第3金曜日）	毎月第2水曜日 10:00～ 第3金曜日 10:00～
	サロン街かど	世代問わず	星田山手東集会所	毎月第1・3水曜日 10:00～ 第4水曜日 13:30～
	あさひ茶話会	高齢者	旭小学校	年6回 10:00～ （奇数月第4日曜日）
	オレンジサロン	認知症当事者とその家族、介護者・一般	星田山手自治会館	偶数月第4日曜日 13:30～
世代間交流	久貝さんの料理教室	世代問わず	星田西3丁目集会所	年4回（季節毎）
	あいさつ声かけ運動	校区役員、地域住民、小中学校児童会・生徒会	通学路・旭小学校 第三中学校	年2回（春・秋） 月曜～金曜5日間
	星の子屋	小学校低学年	星田山手東集会所	第1・2・3水曜日 15:00～



▲ふれあいいいきいきサロン



▲久貝さんの料理教室



▲子育てサロン

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- ボランティアの経験がある人は3割程度で、活動に関する情報提供を多くの人が望んでいる
- 学童見守り活動は地域ボランティアで実施しているが、協力者の高齢化が進んでいる
- サロンや集う場はあるが、運営する側の人手(ボランティア)が増えない
- 高齢者世帯の増加への不安が高い
- 福祉への関心が低い人の理由として、身近にそういう人がいない、情報がないとの回答が多い
- 安心して暮らせる地域には防災・安全・困ったときの相談場所が重要だと考える人が多い
- 身近に活動グループや仲間がないという割合が9校区中最も高い

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- アンケートでは85%以上の方が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も7割弱いる
- 自治会行事などの地域活動に参加意向がある人は8割以上いる
- 福祉に関心がある人が約7割おり、特に高齢者・認知症・こどもに関する福祉に関心が高い
- 暮らしやすく住み続けたいと感じ、町内会行事など地域活動に何らかの形で参加している
- こどもの登下校の見守りやあいさつ運動が充実し、安心して暮らせる地域と感じる人が多い
- 参加や手助けができると思う活動では、地域美化・世代間交流・防災対策の割合が高い
- 世代間交流への参加意識が9校区中最も高い

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- イベントごとのお手伝いやボランティアをきめ細かく募集してくれたらいいな
- こどもがいない世帯や高齢者のみの世帯も、地域の人やこどもたちと関わりが持てる場所があればいいな
- 自治会役員の任期後も、引続きボランティア活動をしてくれるといいな
- 地域を散歩中にひと休みできる場所ができたらいいな
- 小さい子から高齢者までが集まって楽しく交流できる場所ができたらいいな
- 高齢者や認知症の介護、子育ての悩みを相談できる身近な場所があればいいな
- 近所で助け合い同盟を結成した班や町レベルに広がるといいな

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 老人クラブの行なっている活動が地域に周知されていないので、広報を充実させる
- 自治会行事において、大学生・高校生・中学生に入ってもらい企画を一緒に考える
- 気軽に立ち寄れ、お喋りができるサロンや談話室のような場所を設ける
- 広く人材を募りデータベース化して、ボランティア活動に多数の人が関わられるようにする
- 夏休みや冬休みにこどもたちが集まれる居場所をつくる
- 小さい頃からボランティア活動に参加してボランティアを身近なものとして感じてもらう
- 得意な趣味を持つ人を講師にして教室や講座を開く

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 旭小学校区福祉委員会の目標

赤ちゃんから高齢者まで 安心して暮らせるまちづくりをめざし  
みんなの手で幸せを紡ぎます

### 旭小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- いきいきとした暮らしを支えるため、地域に根差したサロン活動を活性化しよう（ふれあいいきいきサロン、サロン街かど、あさひ茶話会、ふらっとサロン）
- 子育て世代から高齢者までが参加できる「料理教室」を通して生活力を高め、交流を深めよう
- 認知症患者と家族や介護をする人の憩いの場である「オレンジサロン」を広げよう
- 後期高齢者の居場所づくりの輪を広げるため、包括支援センターや介護施設等との連携を深めよう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 地域の祭りやフェスティバルを通して世代間交流を行い、郷土愛を育もう
- 子育て世代の孤立を防ぎ、つながりを育む「子育てサロン」の輪を広げよう（子育てサロン、ひまわりっ子）
- 「校区だより」は、地域の広報誌として地域に寄り添い、丁寧に発行を続けよう
- 地域のつながりや交流を深めるため、自治会等と連携し、地域に潜在する未利用施設の効果的な活用を検討しよう

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 地域とともにある学校として開かれた学校づくりの推進に向け、世代間交流を深めよう（土曜教室、旭小まつり、昔あそび、三中校区ふれあいフェスティバル）
- 地域のこどもは地域で育てる「こどもの居場所づくり」を発展させよう（サマースクール、ウインタースクール、星の子屋）
- 地域住民が持つそれぞれの強み（地域力）を活かし、地域の活性化につなげよう
- 地域の担い手を育むために若い世代が地域で活躍できる機会を創出しよう
- 誰もが気軽に福祉活動に参加できるよう情報の周知や声掛けをしよう

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- こどもたちが安全に登下校できるよう見守り活動を次世代にもつなげよう
- 地域で交わすあいさつが安全・安心なまちづくりにつながることを認識し、今後も「あいさつ声かけ運動」強化週間の取り組みを継続しよう
- 防災を始めとして、医療や法務、健康に関する「地域セミナー」を開催し、知識を高めよう
- 福祉に関する勉強会を開催し、校区福祉委員の気づき、見守る力のレベルアップを図ろう

# 星田小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

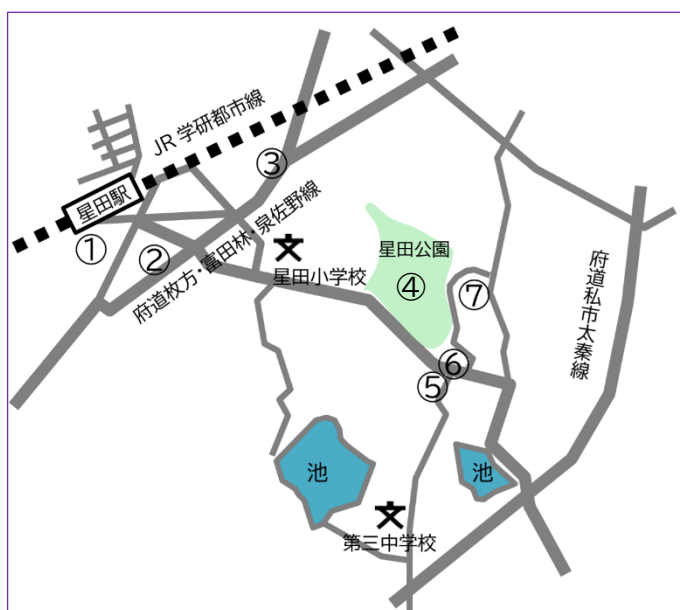
### 地域の特徴

私たちの地域は、市の南西端に位置し、星田駅前にはスーパー・銀行・福祉施設等、生活関連施設が充実しています。また、星田区には星田小学校区の他に旭小学校区・妙見坂小学校区・藤が尾小学校区の4つのエリアが混在しています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	6,102人	6,329人	-3.6%
世帯数	2,882世帯	2,823世帯	+2.1%
年少人口 (0～14歳)	722人	800人	-9.8%
生産年齢人口 (15～64歳)	3,784人	3,856人	-1.9%
高齢者人口 (65歳～)	1,596人	1,673人	-4.6%
高齢化率	26.2%	26.4%	-0.2%

### 地域の拠点マップ



#### 《拠点》

- ①星田駅前ちびっこ広場
- ②ほっこりa tホーム星田
- ③あさひ認定こども園
- ④星田公園
- ⑤特別養護老人ホーム明星  
軽費老人ホーム明星
- ⑥星田こども園
- ⑦星田会館

## 地域の組織

自治 福祉・教育      地域振興 防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	◇星田財産区    ♥星田小学校PTA    ♥第三中学校PTA    ♥青少年指導員    ♥保護司 ♥更生保護女性会会員    ♥民生委員・児童委員
星田区	♣町会    ♣星田だんじり保存会    ♥星田寿会    ♡交野市消防団星田分団    ♡自主防災会

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	いきいきサロン	高齢者	星田会館	毎月第4土曜日 10:00～
	子育てサロン	未就園児と保護者	星田こども園	毎月第2木曜日 10:00～
	喫茶サロン	世代問わず	星田会館	毎月第2土曜日 12:30～
	囲碁サロン	世代問わず	星田会館	毎月第2・4水曜日 10:00～
	元気アップ教室	世代問わず	星田会館	毎週金曜日 13:30～
個別援助	星降る里 絆ステーション	高齢者	依頼者宅	随時
世代間交流	星田小学校昔遊び	小学1年生	星田小学校	年1回
	星田小学校七夕飾り	小学1年生	星田小学校	年1回
	スタンプラリー	世代問わず	星田地域	年1回
	星田区サマーフェスティバル	世代問わず	星田地域	年1回
	三中校区ふれあいフェスティバル	世代問わず	交野三中	年1回
	グラウンドゴルフ	世代問わず	星田公園	毎週土曜日



▲元気アップ教室



▲喫茶サロン



▲子育てサロン

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- 自治会の加入率が低く、加入したことがない、近所との付き合いがほとんどないと答えた人の割合が他校区に比べて高い
- 福祉への関心が低いのは、情報が少ない、自分が何をすればいいかわからない、という回答が多い
- 災害時や治安など地域の安全・安心に関して重要だと考えている人が多い
- 地域の人材活用や世代間交流等、多分野・多世代のつながりに関することへの満足が低い
- 福祉に関心があるが、何をすればいいかわからないという人が多い

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- アンケートでの約97%以上の人々が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も9割いる
- 町内会行事などの地域活動に参加意向がある人は8割以上いる
- 参加や手助けができると思う活動では、見守り活動・災害や防災対策の割合が高い
- 福祉に関心がある人については、特に高齢者・こども・認知症に関する福祉に関心が高い
- こどもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足が高い、またこどもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い
- 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 絆ステーション、ゴミ屋敷の片づけなど、元気アップ体操、サロンを継続
- いきいきサロンを通じてこども達と高齢者との交流ができたらいいな
- 星田にかかる4校区（旭・星田・妙見坂・藤が尾）の横のつながりを大切にする
- 福祉施設での介護知識を生かし、防災時にできることなどの講座を開き、講演できたらいいな
- 学生が4年間、交野市で在住している間に地域ボランティアとして活躍できる場や関わりができたらいいな

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 豆まき・祭りなど行事への参加のきっかけ作りをし、会館をたくさん利用できるようにする。また若い世代の参加が増えるといいな
- 認知症の当事者の話を聞く機会をつくって地域住民の理解を深める
- こどもや年輩者と一緒に遊べるようなトランプ・モルック・ポッチャ・輪なげをする
- 忙しい年代の人たちが興味を引くイベント開催
- 歴史のある場所をめぐるスタンプラリーを継続する
- 中学生・高校生に協力をしてもらう
- コミュニティスクールと地域との連動をさせる（地域の人と交わることができたらいいな）

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 星田小学校区福祉委員会の目標

星田を知り、すべての世代が星田で暮らしてよかった  
と思える地域にしていこう

### 星田小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 「星降る里 絆ステーション」の活動を広め、暮らしに不安を抱えている人の発見、見守りにつなげよう
- 地域住民がフレイルを予防しココロもカラダも健康に暮らし続けられるように、サロンや元気アップ体操を継続しよう
- 星田寿会や軽費老人ホーム明星の福寿会と連携し、高齢者の生きがいづくりを考えよう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- コミュニティスクールと地域が連動することにより、地域住民も学校行事に参加して世代間交流を増やそう
- 福祉施設や学校と連携し、見守り・あいさつ声かけ運動を継続しよう
- 星田行政区をはじめとした各団体との連携により、友愛訪問やスタンプラリー等の活動を継続しよう

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 小学生・中学生・高校生に地域の活動に参加する機会を増やそう
- こどもたちが主役になれる行事を企画し、こどもたちの自己有用感と郷土愛を育もう
- 広報活動を充実し、より多くの方に校区福祉委員会の活動を知ってもらおう

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- サロンの参加者名簿を定期的に更新し、参加者の見守り・安否確認を続けよう
- 星田地域子育て支援センターや子育て支援団体などと連携し、こどもや保護者にとって安心できる地域づくりを考えよう
- 星田行政区、民生委員・児童委員、青少年指導員、星田寿会と連携し、「おりひめ支え愛プロジェクト」を推進しよう
- 防災を想定し、福祉施設や学校とも連携を深め、地域のつながりを強めよう

# 妙見坂小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

### 地域の特徴

私たちの地域は、市の南部に位置し、川や緑に恵まれた自然環境が整っている地域です。山手にあり一戸建てが多く高齢者も多く、住民の世代交代が進んでいます。今までは同じ企業の出身者など退職後も地域のつながり意識は共有できました。今後は自主的な参加者により、地域の福祉活動と一体的な新しい地域運営方法をめざしていきます。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	6,444人	6,574人	-2%
世帯数	2,654世帯	2,640世帯	+0.5%
年少人口 (0～14歳)	890人	881人	+1%
生産年齢人口 (15～64歳)	3,552人	3,609人	-1.6%
高齢者人口 (65歳～)	2,002人	2,084人	-3.9%
高齢化率	31.1%	31.7%	-0.6%

### 地域の拠点マップ



#### 《拠点》

- ① きんもくせい  
特別養護老人ホーム
- ② ケアハウスきんもくせい
- ③ 南星台南の星公園
- ④ 南星台集会所
- ⑤ 妙見坂中央公園
- ⑥ 妙見坂自治会館
- ⑦ 妙見東自治会館
- ⑧ 妙見東中央公園
- ⑨ 妙見東自治センター

## 地域の組織

♣自治 ♡福祉・教育      ◇地域振興  
 ♣防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	♡妙見坂小学校区福祉委員会   ♡妙見坂小学校   ♡第三中学校   ♡青少年指導員 ♡民生委員・児童委員   ♡保護司   ♡更生保護女性会会員   ♡きんもくせい
妙見坂地区	♣妙見坂連合自治会（5自治会）   ♣地区防災会   ♣地区防犯協議会 ◇まちづくり委員会   ♡ふれあい会   ♡かがやきクラブ   ♡連合子ども会
妙見東地区	♣妙見東自治会   ♣地区自主防災会   ◇まちづくり委員会   ♡やわらぎ会 ♡妙見東応援団
南星台地区	♣南星台自治会   ♣地区自主防災会   ◇まちづくり委員会   ♡子ども会   ♡星寿会
星田地区	♣星田区12町会（自治会）   ♡星田小学校区福祉委員会

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	いきいきサロン	高齢者	妙見坂自治会館	毎月第2土曜日 10:00～
			妙見東自治センター	奇数月第2金曜日 10:00～
			南星台区集会所	毎月第2木曜日 10:00～
	元気アップ体操	高齢者	妙見坂自治会館	毎週火曜日 10:00～
	歌声サロン	高齢者	妙見坂自治会館	毎月第3金曜日 10:00～
	映画鑑賞	高齢者	妙見東自治センター	随時
	園芸講座	高齢者	妙見東自治センター	随時
	スマホ教室	高齢者	南星台区集会所	毎月第3木曜日 10:30～
	子育てサロン	未就園児と保護者	妙見坂自治会館	毎週水曜日 10:00～
共生サロン	世代問わず	各地区自治会	年間 交流行事	
世代間交流	妙小校昔遊び	小学生	妙見坂小学校	年1回
	農園野菜作り	世代問わず	妙見坂小学校	通年
	あいさつ運動	世代問わず	小学校・地区内	通年



▲子育てサロン



▲歌声サロン



▲あいさつ運動

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- 地域活動の担い手不足や、空き家の増加に不安を感じている
- 安心して暮らせる地域には災害や治安、高齢者への支援が重要だ
- 公共交通やインフラ整備など住みよい環境に関する満足度が低い
- 忙しくて時間が取れない、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となる
- 情報提供・活動費の補助があればボランティア活動しやすい
- 友人・知人、隣近所など、周囲の人に相談したり手助けを求める人が減っている
- ボランティア活動の経験者は3割程度で、活動に関する情報提供を望んでいる

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- 8割弱の人が地区を暮らしやすいと感じ、住み続けるという人も7割程度いる
- 自治会へ加入している人の割合が高く、近所づきあいや地域活動への意識が高い
- 参加や手助けができる活動は、地域美化活動・防災防犯・日常生活支援の割合が高い
- 隣近所の交流やあいさつなどの声掛けなど、地域のつながりに関する意識が高い
- 地域への参加意識や高齢者・認知症に関する福祉への関心度が高い
- こどもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験、関心がある人が多い
- 地域の行事や清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 見守り情報共有、空き家情報共有で見守りを強化する
- 地域のつながりを強め、困っている人を支える
- 地域のつながりを強めて安全・安心・快適な暮らしの基盤をつくる
- 地縁・郷土愛を大切に地域で育ち地域を愛する意識を育む
- こどもの遊び場確保、学校のグラウンド開放などで自由に遊べる
- 参加しやすい地域活動、負担を減らした自治会活動のあり方
- 地域に住む人・働く人の強みを活かす

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 地域のつながりづくりの場づくりと見守り活動を実践する
- 地域のつながりを強化して、困りごとを抱える人を支える
- 地域の福祉活動と一体化して安全・安心・快適な地域をつくる
- 地縁・郷土愛を大切に、地域を愛する風土づくりの機会を設ける
- こどもの遊び場確保のため、学校のグラウンド開放などを実現する
- 参加しやすい地域活動、負担を減らした活動により参加者を増やす
- 地域に住む人・働く人の強みを活かすための交流会を実施する

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 妙見坂小学校区福祉委員会の目標

みんなの福祉にみんなで向き合い「ふだんのくらしのしあわせ」を実感できる地域にしよう！

「あいさつ運動」でつながりを深め、地域福祉、地域安全活動を実践しよう！

### 妙見坂小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 個人を大切にしてその人らしく安全・安心・快適に暮らせる地域づくりをめざす
- コミュニティ活動へ参加しやすくして、「つながりや居場所づくり」で生活を充実させる
- 「ゆるやかなつながり」、近所の挨拶だけでも地域とつながる機会をつくる
- 支援の必要な人が気軽に相談できる場を設け、相談窓口と情報連携を円滑にする

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 多世代交流イベントとして、地域の祭りなど共生サロンの企画を充実させる
- あいさつと声かけ運動で、あたりまえのことをみんなで実践する
- 情報共有ツール（LINEグループなど）を活用し情報共有と問題解決に生かす
- 野菜作りなど各世代みんなが活躍できる場で、得意分野・スキルを生かし交流する

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- ボランティア活動への参加ハードルを下げる、担い手の負担を軽減する
- 多様な担い手と出会う場をつくり、地域全体で支え合い「お互いさま」の意識をもつ
- 地域内外の他団体との協働によりそれぞれの強みを活かし、協力者の輪をひろげる
- 校区福祉事業活動費について、利用しやすい予算の仕組みをつくる

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- 防災・防犯・交通安全などで参加しやすい活動を地域福祉一体で推進する
- こどもの安全見守りの強化、遊び場確保、学校グラウンドの有効利用を実現する
- 高齢者の安全の支援体制を充実させる
- 災害時に実効性のある要援護者支援体制をつくる

# 岩船小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

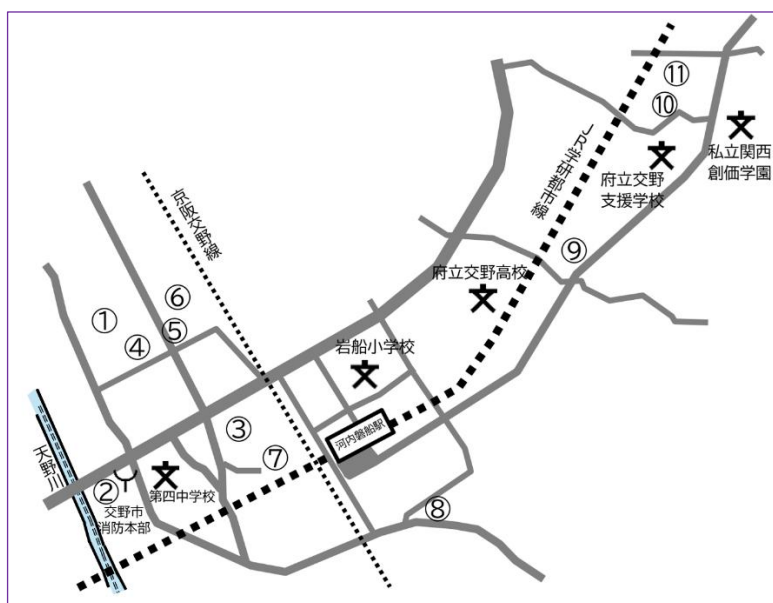
### 地域の特徴

私たちの地域は、市の東部に位置し、旧家と戸建て住宅からなる森地区・寺地区、昭和45年頃に開発された住宅からなる天野が原町地区、4世帯からなる傍示地区で構成されています。地域活動は、森、寺、天野が原町の3地区において独自性を活かして実施しながら、各地区の連携を図り、校区としてまとめて、活動を展開しています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	6,734人	6,657人	+1.2%
世帯数	3,069世帯	2,914世帯	+5.3%
年少人口 (0～14歳)	800人	829人	-3.5%
生産年齢人口 (15～64歳)	3,892人	3,759人	+3.5%
高齢者人口 (65歳～)	2,042人	2,069人	-1.3%
高齢化率	30.3%	31.1%	-0.8%

### 地域の拠点マップ



《拠点》
①さくら丘自治会館
②天野が原集会所
③社会福祉法人心生会
④西公園
⑤天野が原自治会館
⑥北公園
⑦保健福祉総合センター (ゆうゆうセンター)
⑧森区民ホール
⑨寺会館
⑩交野自立センター
⑪ワークハウスやわらぎ

## 地域の組織

♣自治 ♡福祉・教育      ◇地域振興  
 ♣防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	♡岩船小学校 ♡第四中学校 ♡交野支援学校 ♡岩船小学校PTA ♡青少年指導員 ♡保護司 ♡更生保護女性会会員 ♡民生委員・児童委員 ♡主任児童委員 ♡かたの福祉会 ♡心生会
天野が原町地区	♣連合自治会 ♣自主防災会 ◇まちづくり・委員会 ♡星友クラブ ♡子ども会 ♡第一文庫 ◇青少年育成部会
寺区	♣区会 ♣自主防災会 ♡寺みどり会 ♡子ども会 ◇世代間交流の会 ◇さともりの会
森区	♣組長会 ♣自主防災会 ◇森山地保全 ♡森友クラブ ♡子ども会 ♡森なかよし文庫

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	ふれあいサロン	高齢者 (おおむね65歳以上)	さくら丘自治会館	毎月第2水曜日 13:30～
			寺会館	毎月第2金曜日 13:30～
			森区民ホール	毎月第2月曜日 13:30～
	子育てサロン	未就園児と保護者、妊婦	森区民ホール	毎月第1月曜日 10:00～
	パソコン教室	地域住民	さくら丘自治会館	毎月第1・2・4火曜日 14:00～
	みんなで歌おう会	地域住民	森区民ホール	毎月第1木曜日 14:00～
	栗拾い・芋ほり	地域住民	校区内の畑	秋頃
個別援助	あいさつ声かけ運動	岩船小学校児童	校区内	随時
世代間交流	稲作 (田植え・稲刈り・炊飯)	岩船小学校5年生	校区内の田んぼ	各年1回
	オセロ大会	岩船小学校児童	岩船小学校	年1回
	グラウンドゴルフ	岩船小学校4年生	岩船小学校	年1回
	昔くらし体験	岩船小学校3年生	岩船小学校	年1回
	栗拾い体験	岩船小学校2年生	校区内の畑	秋頃
	昔あそび体験	岩船小学校1年生	岩船小学校	年1回
		交野支援学校児童	交野支援学校	年1回
岩小わいわいフェスタ	岩船小学校児童と地域住民	岩船小学校	年1回	



▲ふれあいサロン



▲子育てサロン



▲みんなで歌おう会

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- ボランティア活動をしたことがある人は3割程度で、情報提供・活動先の紹介があればボランティア活動が行いやすいという人が多い
- 地域活動の担い手や、住民同士の触れ合いが少なくなっていることに不安を感じている人が多い
- 安心して暮らせる地域には、災害時や治安など地域の安全・安心が重要だと考えている人が多い
- 忙しくて時間が取れないこと、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となっている

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- 多くの人が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人が多数いる
- 町内会や自治会へ加入している人の割合が高く、近所づきあいや地域活動への意識が高い
- 福祉に関心がある人の割合が高く、特に高齢者・認知症・病気療養中の人に関する福祉への関心が高い
- こどもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足度が高い
- 近所づきあい・助け合いの意識が強い
- 成年後見制度や再犯防止に関する制度等の認知度が上がっており、啓発活動の効果が見られる

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- デジタル化に伴い、シニア世代に使い方教えてほしい。
- つながりを深める、コミュニケーションの場（それを維持するスタッフ確保）
- 交野高校や関西創価高等学校とも一緒に活動をするなどお互いを知りつながり深めよう
- 岩小校区ならではのイベント（栗林を活用したイベント、収穫物を活用）
- 独居高齢が多いので、要望の集約する場（窓口）をつくりボランティアの方と一緒に助け合う
- 傍示の里（山）の活用ができるといいな

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 社会福祉施設と協働することでお互いを知ることからはじめよう
- 夏休みなどの長期休暇に、ゆうゆうセンターなどを活用して、子どもたちが自分で自分の食事をつくるなどの機会をもてるといいな（社会福祉施設の栄養士の話聞きながら）
- 世代交代するためのバトンタッチの機会、方法、システムの構築
- 地域の資源はあるが、人の資源の情報が少ない。技術を持っている人の掘り起こし
- 田畑が多い地域で育てた野菜を使っての交流
- 若い人向けのイベントを実施し、参加やボランティア活動のきっかけをつくる

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 岩船小学校区福祉委員会の目標

誰もがつながりを実感できる豊かな地域にしよう

### 岩船小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 高齢者を含めて交流できる場をつくり、見守りあえる関係づくりにつなげよう
- こどもの安心・安全な居場所作り、相談や見守りのできる場を増やそう  
(長期休暇時の世代を超えたふれあいの場)
- 各サロンに参加することにより趣味・興味を増やすことで、仲間づくりや健康増進につなげよう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 休耕田・畑を活用して多世代での交流の輪をひろげよう(栗拾い、さつまいも掘り、稲作)
- 地域であいさつ・声掛け運動の仲間を増やし、見守りの輪を広げよう
- 地域の良さを実感できるようなイベント(栗拾いやさつま芋ほり、稲作など地域の特性を活かす)を継続し、郷土愛を育もう
- 地域の福祉事業所などとの交流を通して、お互いを理解し、協力し合える関係づくりをしよう

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 広報委員会の活動を拡大し、積極的に校区福祉委員会活動をPRしよう
- 避難所運営ゲーム(HUG)などの研修により、災害時に若手が中心の運用ができるようにしていこう
- 地区の祭・行事などに参加することで、地域の状況や状態を把握するようになる
- 近隣の校区福祉委員会と協力し合いながら、イベントなどの集いの場の継続や担い手不足の解消につなげていこう。(ヨコのつながり)

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- サロンの参加者名簿を定期的に更新し、見守り・安否確認を続けよう
- 地区と連携し、「おりひめ支え愛プロジェクト」の登録、更新の支援をしよう
- 中学生・高校生を対象に、防災・防犯意識を高める取り組みをしよう
- あいさつ・声掛け運動を継続し、地域のつながりを深めよう

# 私市小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

### 地域の特徴

私たちの地域は、市の南東部に位置し、自然に恵まれ、また、神社・寺院・文化財等が多くある歴史のある地域です。地域は、大きくは旧地域である私市地区と新興住宅地である私市山手地区に分かれており、独自の活動を展開しています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	6,938人	7,076人	-2%
世帯数	3,027世帯	2,936世帯	+3%
年少人口 (0～14歳)	887人	997人	-11%
生産年齢人口 (15～64歳)	4,202人	4,219人	-0.4%
高齢者人口 (65歳～)	1,849人	1,860人	-0.6%
高齢化率	26.7%	26.3%	+0.4%

### 地域の拠点マップ



- 《拠点》
- ①井手之内会館
  - ②私市会館
  - ③青葉台自治会館
  - ④私市山手自治会館
  - ⑤私市山手集会所

## 地域の組織

♣自治  
♥福祉・教育  
◇地域振興  
♠防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	♥私市小学校 ♥第四中学校 ♥私市小学校PTA ♥子ども会 ♥私市小学校区地区委員会 ♥青少年指導員 ♥保護司 ♥民生委員・児童委員 ♥主任児童委員 ♥ボランティア
私市区	♣私市財産区 ♠私市消防団 ◇文化財保護委員会 ◇健康維持増進プロジェクト
私市山手地区	♣私市山手自治会 ◇私市山手地区まちづくり委員会 ♠私市山手地区自主防災会 ♣青葉台自治会 ♥私市山手老人クラブ(さわやかクラブ) ♥青葉台老人会(楽友会)

## 校区福祉委員会の活動内容

※祝祭日に重なった場合は、休み

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	子育てサロン	未就園児と保護者	井手之内会館	毎月第1金曜日 10:30～ (4・5月は第2金曜日、1・8月は休み)
	いきいきサロン	地域の高齢者	私市会館	毎月第3金曜日 13:30～ (8月・12月は休み)
	まごころサロン	地域の高齢者	私市山手自治会館	毎月第4火曜日 10:00～ (8月・12月は休み)
	男のきさいちサロン	地域の高齢者	井手之内会館	毎月第2・4火曜日 13:30～ (8月は休み)
	元気アップ体操	地域の高齢者	私市会館	毎週水曜日 13:30～ (第5は休み)
	すずめの杜	地域の高齢者	私市会館	毎月第4金曜日 13:30～ (8月は休み)
個別援助	お手伝いクラブ	一人暮らし高齢者	依頼者宅	随時
	あいさつ運動	地域住民	私市駅・河内森駅・私市小学校	年2回(春・秋)
世代間交流	昔遊び	私市小学校1年生と地域の高齢者	私市小学校	年1回
	昔語り	私市小学校3年生と地域の高齢者	私市小学校	年1回
	フレンド私市	小学生と地域住民	井手之内会館	夏休み中(週1回)



▲子育てサロン(七夕)



▲フレンド私市(遊び)



▲元気アップ体操

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- 地域活動の担い手や、住民同士の触れ合いが少なくなっていることに不安を感じている人が多い
- 福祉への関心が低いのは、福祉活動などをしたことがない、自分が何をすればいいかわからない、という回答が多い
- 災害時や治安、困ったときの情報提供など地域の安全・安心に関して重要だと考えている人が多い
- ふくしに関心はあるが、何をすればいいかわからないという人が多い

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- 9割以上の方が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も7割以上いる
- 参加や手助けができると思う活動では、地域美化活動、災害や防災対策・高齢者支援の割合が高い
- 隣近所の交流やあいさつ、声掛けなど、地域のつながりに関する項目への満足度が高い
- こどもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い
- 成年後見制度や再犯防止に関する制度などの認知度が上がっている

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 散歩をしているときにこどもに声を掛けてくれるまち
- こどもから声を掛けてくれたらうれしい
- 趣味のつながりの中で話をしあえると良い
- 私市山手地区のウォークラリーを続けてくれたらいいな
- 他市より転居されてきた人の参加を進める
- サロン等で屋外での活動ができたらいいな

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 校区福祉委員会活動の一覧を口コミで広げていく
- 見守りのできている地域なので、日々のあいさつをしたり声掛けを継続していく
- 校区福祉委員会の活動を知ってもらうために、委員が自発的にPRする
- こどもたちに地域の夏祭り・秋祭りへの参加を促し、地域を知ってもらう
- 世代間交流を通して地域の活性化につなげる
- 大人の遠足（近場でよいので交流できる場所）

## 私たちのアクション

### 私市小学校区福祉委員会の目標

ともに生きる時代を大切にして  
見守り合う楽しい地域にしよう

### 私市小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 地域の方が自由に交流できる場所をつくろう
- ラジオ体操、元気アップ体操などを継続し、見守りの輪を広げながら、健康寿命を延ばそう
- 寿命100年、自分の人生を楽しいものにするために行動しよう
- 子育てサロンでは、参加される保護者同士の「おしゃべりタイム」をつくり、ひと時の安らぎを感じてもらおう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- 高齢者のちょっとした困りごとに対応する「お手伝いクラブ」の活動を継続し、活用してもらおう
- 学校などで地域の方と交流できる機会をつくろう
- 幼少期からボランティアや福祉体験をする機会をつくろう
- 近隣の校区福祉委員会との交流活動や、お互いに参加しやすい仕組みをつくろう。

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- SNSなどを活用し、幅広い世代に校区福祉委員会の活動を知ってもらおう
- 小学生や中学生に校区福祉委員会活動に参加してもらおう機会をつくろう
- 夏休みのこどもの居場所「フレンド私市」を継続し、世代を超えた交流を行うとともに新たな担い手の確保に向けた取り組みを考えよう
- 近隣の校区福祉委員会と協力し合いながら、集いの場の拡大や担い手不足の解消につなげていこう（ヨコのつながり）

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- さまざまな災害を想定し、サロン活動時などに定期的に避難訓練をしよう
- サロンなどで出前講座を開催し、防災・防犯意識を高める機会をつくろう
- 校区福祉委員会で区などの訓練に参加協力しよう
- 「向こう3軒両隣」で支え合い、災害時や日ごろの困りごとを助け合おう

# 藤が尾小学校区福祉委員会アクションプラン

## 私たちの地域の基礎データ

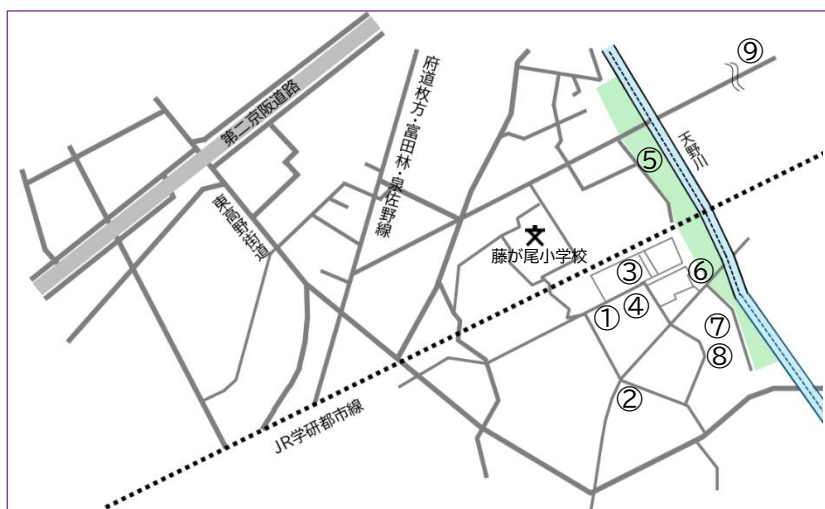
### 地域の特徴

私たちの地域は、市の中央部に位置し、近年では、宅地開発がすすみ、新しい戸建も増加傾向にあります。自治会よりも組織、地縁、意識ともに「テラス」「公社」「団地」の属性が中心で、福祉関係施設が多いのが特徴であり、日頃から連携を図っています。

### 地域の概要

	令和7年(9月末)	令和3年(8月末)	増減率
人口	6,338人	5,172人	+22.5%
世帯数	2,903世帯	2,263世帯	+28.3%
年少人口 (0～14歳)	879人	685人	+28.3%
生産年齢人口 (15～64歳)	3,838人	3,024人	+26.9%
高齢者人口 (65歳～)	1,621人	1,463人	+11.0%
高齢化率	25.6%	28.3%	-2.7%

### 地域の拠点マップ



《拠点》
①藤が尾ふれあい会館
②ふじが丘保育園
③府営団地集会所
④藤が尾会館
⑤天野川緑地
⑥府営団地第二集会所
⑦特別養護老人ホーム 天の川明星
⑧公社集会所
⑨地域活動支援センターみのり

## 地域の組織

♣自治      ◇地域振興  
♥福祉・教育   ♡防犯・防災

地域	組織・団体名
広域	♥藤が尾小学校   ♥第四中学校   ♥藤が尾小学校PTA   ♥第四中学校PTA ◇青少年指導員   ♥保護司   ♥更生保護女性会会員   ♥民生委員・児童委員 ♥医療法人   ♥ボランティア
藤が尾区	♣藤が尾自治会   ◇まちづくり委員会   ♥老人会（あけぼの会）   ♥こども会 ♣自主防災会
星田区	♣自治会   ♡消防団

## 校区福祉委員会の活動内容

	名称	対象者	場所	日時
グループ援助	ふれあいサロン	高齢者	藤が尾会館	毎月第1金曜日 10:00～
	子育てサロン	未就園児と保護者	ふれあい会館	毎月第1火曜日 10:00～
	ピンポンサロン	地域住民	藤が尾会館	毎月第1・3木曜日 13:30～
	喫茶「陽だまり」	地域住民	藤が尾会館	毎月第3木曜日 13:30～
	一人暮らし高齢者懇談会	高齢者	藤が尾会館	年1～2回
個別援助	なごみの部屋	地域住民	藤が尾会館	毎月第1木曜日 13:30～
	友愛訪問	地域住民	対象者宅	適宜
	あいさつ・声掛け運動	地域住民	校区内	月～金曜日
世代間交流	夏の居場所「寺小屋」	地域住民	藤が尾会館	夏休みの木曜日
	サマーフェスティバル	地域住民		夏 年2日
	もちつき交流会	藤が尾小学校2年生と地域住民	藤が尾会館・ふれあい館	年末 1回
	しめ縄づくり	地域住民	藤が尾会館	年末 1回
	グラウンドゴルフ	藤が尾小学校3年生と地域住民	藤が尾小学校	年1回
	防災訓練	地域住民	藤が尾小学校	2年ごと
	昔遊び	藤が尾小学校1年生と地域住民	藤が尾小学校	年1回



▲夏の子ども居場所 寺小屋



▲いきいきサロン(三味線)



▲ピンポンサロン

## ◆ 私たちの地域の声 ◆

### 地域の現状 ～市民アンケートより～

- 情報提供・活動先の紹介があればボランティア活動が行いやすいという回答が多い
- 安心して暮らせる地域には、災害時や治安、困ったときの情報提供など地域の安全・安心が重要だと考えている人が多い
- 友人・知人、隣近所など、周囲の人に相談したり手助けを求めている人の割合が減っている
- ボランティア活動をしたことがある人は3割程度で、活動に関する情報提供を多くの人が望んでいる

### 地域の強み ～市民アンケートより～

- アンケートでは約74%の人が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も7割以上いる
- 町内会行事などの地域活動に参加意向がある人は8割以上いる
- こどもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足度が高い
- 障害福祉に関心があると回答した人の割合が他校区よりも高い
- 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い
- 福祉に関心がない人でも、居住地域での地域美化活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる

### できたらいいな ～地域アンケート&地域懇談会より～

- 知らんぷりをされても、声かけ・あいさつを続ける「おせっかい屋」になろう
- AEDの設置場所や使用方法について、定期的に講習会があるといいな
- 不審者の訪問などについて、相談できる場所がほしい
- 顔を見て会話ができるベンチがあったら良いのになあ
- 施設の見学などの交流会を通じて、福祉に興味を持ちいづれ働く機会のひとつになればと思う
- 地域の要請があれば、手伝い、協力できる人材の体制ができるといいな

### できそうなこと ～地域アンケート&地域懇談会より～

- ピンポンサロンのPRを小中学生向けに行う
- 月1回、町内の掃除後に連絡会を実施しているので、その際に近所で気になっている人などの情報共有を行ってはどうか
- 各地区の当番が月1回定例会に参加するので、その場で各地区からの情報を集約して、民生委員や福祉部、地域包括支援センターなどにつなげられるのでは
- 朝の声掛けに、中学生も参加してもらおう

## ◆ 私たちのアクション ◆

### 藤が尾小学校区福祉委員会の目標

地域のつながりを深め、障がい者や高齢者、  
誰もがいきいきと暮らせるまちづくりをめざします

### 藤が尾小学校区福祉委員会の重点取り組み

#### 基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる

- 地域の行事に積極的に誘いをかけ、閉じこもりを減らそう
- 『今日いくところがある!!』作りを心がけ外出の機会を増やそう
- 誰でも気軽に入りやすいサロンを準備して、参加者の健康・安否・見守りにつなげよう
- ピンポンサロン、ラジオ体操などを通じて、多様な人との交流や健康維持に努めよう
- 看護師によるよろず相談「なごみの部屋」を継続し、気軽に相談できる場所にしよう

#### 基本目標2 地域のつながりをつくる

- お隣さん『元気デッカ!』から始まる声かけを全域にひろめよう
- サロン活動の周知と誰もが参加しやすい場所にしよう
- 地域の定期清掃の後に、ミーティングを実施し、情報交換を続けよう
- 地域にある福祉事業所などとの交流を通して、お互いの理解を深めていこう
- 近隣の校区福祉委員会とのヨコのつながりを活かし、地域の活性化と担い手不足の予防に努めよう

#### 基本目標3 地域福祉の担い手をつくる

- 自治会の広報誌などで積極的に活動内容を発信しよう
- 団塊の世代へ社会参加を促そう
- 校区だよりを活用して星田北地区でお手伝い可能な人に呼びかけよう
- もちつき大会、しめ縄づくりなどの伝統行事を守り、地域の良さを実感できるような取り組みを継続することで、担い手となる人材を発掘していこう

#### 基本目標4 安全・安心な地域をつくる

- 高齢者の見守りを通して孤立しないようにサポートしよう
- こどもの登下校見守り・防災訓練など安心して暮らせる地域にしよう
- 地域の防犯設備を確認するなど、防犯意識を高め、安心・安全のまちづくりをしよう
- 区と協力しながら防災訓練を実施し、災害時に近所で助け合って避難できるように備えよう